

## 高等工科学校生徒とその保護者が地本の募集に協力



会場で広報官の説明に聞き入る参加者



パンフレット等配布に協力する高工校生徒

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、8月1日（土）横浜市立大学内で行われた「神奈川の高校展実行委員会」主催の公私合同説明・相談会において陸上自衛隊高等工科学校の説明会等を実施した。これは中学生とその保護者を対象に例年志望高校所在地域の大学キャンパス等で説明会・個別相談・展示等が行われているもので、今年初めて自衛隊神奈川地方協力本部として大学側の協力と陸上自衛隊高等工科学校の支援を得て、大学正門からキャンパス内の各高校説明会場への経路上で募集広報と陸上自衛隊高等工科学校の説明及び相談会を行ったものである。

当日は横浜南地区の県立・市立・私立高校、合計34校が参加し、朝早くから大勢の中学生とその保護者が来場した。

陸上自衛隊高等工科学校説明会場では同校3年の大津生徒以下3名とその保護者1名及び同校の若村広報班長も支援に駆けつけ、猛暑の中で汗だくになりながらパンフレットの配布や説明会場での質疑応答等に対応してもらった。

参加した対象者からは「テレビを見る暇はありませんか」など生活全般の質問が多く出るとともに、保護者からは「偏差値が高く感じるが、レベルはどれくらいですか」等と試験に関する質問が出るなど保護者としても関心があることが窺えた。

上大岡募集案内所は、「このような部外行事とコラボしたイベントや説明会等を積極的に企画し、募集目標達成のために事務所一丸となって努力していきたい」としている。

## 防大生と募集対象者との意見交換会



高野防大生（写真：中央）と懇談する対象者

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、8月20日（月）、防衛大学校2学年の高野学生と30年度防大の受験を検討している募集対象者5名との意見交換会を実施した。

これは防大生の夏季休暇中の帰郷広報の一環で、募集案内所において対象者への防大ガイダンスと受験アドバイス、更に広報官を含めた意見交換などを行った。

来所時はやや緊張が見えた対象者も時間が経過するにつれ、打ち解け笑い声が聞こえてくるなど終始和気藹々と懇談していた。

参加者達からは「試験の傾向と対策」「学生舎における時間の使い方」「校友会活動」など幅広く質問が出て、防大の学生服で立派に成長した高野学生がそれに丁寧に答えていた。

最後に参加者達が目を輝かせてお礼を述べている姿を見て、今回の意見交換会が対象者の不安除去や受験意欲の向上に繋がったものと確信するとともに、相談相手を務めてくれた高野学生も「後輩のために役に立てて良かったです。また呼んでください！」と話してくれた言葉に頼もしさを感じた。

上大岡募集案内所は、「今後も募集対象者のニーズに合った事業を積極的に計画実行し、募集目標達成に寄与したい」としている。

## 神奈川県・海老名市合同総合防災訓練

### 「ビッグレスキューかながわ」において予備自衛官等制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貢 祐）は、8月26日（日）、県立相模三川公園で実施された「ビッグレスキューかながわ」において予備自衛官等制度の広報活動を実施した。

「ビッグレスキューかながわ」は、神奈川県と海老名市との合同で大規模災害発生時の初動対応における救急医療等を主体とした実践的訓練であり、神奈川県は例年本訓練において制度広報を実施している。

当日は連日続く猛暑の中、黒岩祐治神奈川県知事をはじめ多数の政府関係者や、自衛隊関係者も本訓練を視察するなか、同地本が管理する即応予備自衛官も、警察官、消防隊員、関係自治体職員らとともに、救出救助、傷病者の搬送、燃料供給等の訓練を整齊と実施し、日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮した。

また、中央会場に展示ブースを設置し、来場者に対して予備自衛官等制度パンフレットや広報グッズを配布するとともに、同制度についての説明を実施した。

当日の訓練における自衛隊の活躍を目の当たりにした来場者は、自衛官や予備自衛官補について興味を深め、熱心に説明を聞く様子も見られた。神奈川県では、「今後も引き続き、同様の機会を活用して、予備自衛官等制度の普及に努めるとともに、防衛基盤及び予備自衛官等勢力の拡充に努めていく」としている。



予備自衛官等制度広報



倒壊家屋から救出救助する即応予備自衛官



救出救助を実施する即応予備自衛官